

「好之者不如樂之者」

修 筆者の主宰するキャリアの研  
 話をしよう。彼は、健太郎君の  
 日が来れば満40歳になる。生  
 孔子流に言えば、まだ惑いの年  
 だ。しかし、まだ惑い続けている  
 いる。彼には定まった収入の道が  
 無い。未婚のまま、母の年金が  
 にパラサイトして生きている。  
 何か自分に合う職業はないか  
 と真剣に考えてはいる。だが、  
 世の中にかくも多種多様な職  
 業はあるが、彼自身に身に上  
 ったもの一つ無い以上、つ  
 いたも合うものなどあるわけ  
 が無いとも思っている。  
 結局、何人にも喜んでもらえて、  
 程々の収入が得られる仕事を  
 したい。資格試験のため勉強福  
 祉士の資格試験のため、勉強  
 を始めたい。しかし、それな  
 自分が始めた。いや、それな  
 のかどうか、いや、それな  
 は乏しいのだ。いまひとつ実感  
 と彼が、この人生を送るこ  
 とになるであらう。誰か兄  
 弟はもろくな。周囲の誰もか  
 想像しなかつた。幼いときか  
 ら他に抜きの出さなかつたが、  
 親は口にこそ出さなかつたが、  
 末期は博士か大臣かとひそ  
 かに期待していた。だから、そ  
 近所の悪ガキなどを見たら、  
 彼の両親は、「困ったものだ」  
 と内心蔑んで待っていた。十分  
 強いながらも成長の期待に。特  
 に応えが、心を抱いていた。特

ち、ビツグ・バンの瞬間の作  
 りに、あれを創始した瞬間の  
 物理学者を描いた。その内  
 物、夢を成し遂げた。その  
 に、高成績だ。その内、名門  
 私立高校に進学した。その  
 抜群の成績だ。その内、名門  
 希望を満了させた。その内、  
 処だ。約束された。その内、  
 たる。段が。ついでに、ついでに、  
 もつ。父は、ついでに、ついでに、  
 進学して、国家公務員試験を優  
 秀な成績でパスした。省優  
 主計局のキャリア官に大蔵省  
 い、彼の父は、民間の大企業  
 卒業した。父は、民間の大企業  
 社員だ。多岐にわたる。その  
 仕事が多岐にわたる。その  
 辟易とした。その内、ついでに、  
 い、論議から、夢を見て、ついでに、  
 物理学者である。その内、ついでに、  
 と、官僚に、夢を見て、ついでに、  
 抜き、差し、なら、対立が、ついでに、  
 つ、た。その内、ついでに、ついでに、  
 校へ行く。勉強を放棄した。その  
 に、引きこもる。勉強を放棄した。その  
 対立は、激しくなつた。その内、  
 労が、崇めた。その内、ついでに、  
 症、し、失意した。その内、ついでに、  
 は、し、希望を通り、ついでに、  
 自身、の、希望を通り、ついでに、  
 成功した。その内、ついでに、  
 や、論議は、ついでに、ついでに、  
 め、論議は、ついでに、ついでに、  
 者、これ、ついでに、ついでに、  
 こ、これ、ついでに、ついでに、  
 畢、これ、ついでに、ついでに、